

長野市伝統芸能団体

保存団体	フリガナ 団体名	ウエマツカグラハヤシホゾンカイ、ウエマツカグラハヤシホゾンカイ(ジョセイ) 上松神楽囃子保存会、上松神楽囃子保存会(女性)		
	伝統芸能の 名称	上松神楽		
	地区・ 行政区	第二地区・上松区		
行事(祭礼)	名称	春季例祭	秋季例大祭(前夜祭)	秋季例大祭(例大祭)
	場所	駒形嶽駒弓神社 本宮	駒形嶽駒弓神社 里宮	駒形嶽駒弓神社 本宮
	時期	毎年 4 月第 1 日曜日	毎年 9 月 22 日	毎年 9 月 23 日
	内容	14 時 神事・神楽奉納	21 時 神楽宮入、神楽奉納、神輿宮入、神輿奉納、煙火奉納 22 時 10 分 笹原手締め式・神楽奉納	14 時 神事・神楽奉納・神輿奉納
	いわれ ・特徴	<p>五分一太神楽は、約 250 年前の江戸中期から現代まで伝わるもので、伊勢から江戸へと伝わったものが、次第に信州へとやってきたとされています。上松区も古牧地区から五分一太神楽を習い、伝承してきたものと思われます。嘉永 2(1849)年の資料にも、すでに「神楽」の文字が見て取れます。明治期までは、若者中(若者会)と呼ばれる青年団の前身が、大正期には青年団が秋季祭典において神楽のほか、神輿、煙火、神前相撲の奉納を行っていたとされています。終戦後、再び上松青年団の祭典部によって獅子舞の稽古などもされたようですが、その後、解散。しばらく区の神楽は途絶えていましたが、昭和 46(1971)年に上松友志会が発足、そして昭和 50(1975)年には、上松神楽囃子保存会が発足しました。再び吉田地区の“ごっしゃん”に教えを請い、現在に至ります。</p> <p>上松神楽囃子保存会が、駒形嶽駒弓神社に神楽を奉納するのは、春季例祭と秋季例大祭の 2 回です。黒駒を祀る駒形嶽駒弓神社だけあって、農耕馬、乗馬、運送馬と馬の利用が盛んだった時代、春季例祭には近隣近郷より馬を曳いて参拝する人が引きも切れず賑わったといわれています。</p>		



秋季例大祭（前夜祭）
町舞（氏子総代宅）神楽奉納



秋季例大祭（前夜祭）
町舞（道中）の様子



秋季例大祭（例大祭）
駒形嶽駒弓神社（本宮）神楽奉納



秋季例大祭（前夜祭）
駒形嶽駒弓神社（里宮）神楽奉納